

令和3年度 環境活動スタート事業

1 実施校

郡山市立東芳小学校（5・6学年）

2 実施日

令和3年7月1日（木曜日）

3 内容

「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

ぼくが心に残ったことは、川をたどればキリバスもアメリカにもつながっているというお話です。日本人がゴミを川に捨てれば海を渡ってキリバスなどの国々へ流れていってしまうので、これからはできるだけごみを出さないようにしたいと思います。

先生のお話から、自分の「どうせできない。」とか「無理。」とかいう気持ちが、自分の将来の夢をじゃまするということを理解しました。地球温暖化のことも教えていただきました。すべての川は海につながっていること、そして、グローバルに考え、ローカルに活動することを忘れないで生活していきたいと思います。

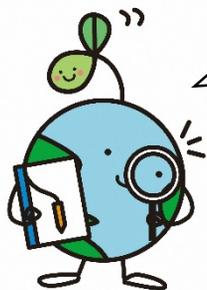
地球温暖化で気温が高くなったり、雨が降ったり降らなかったりして、命を落としてしまう人がいたり、海洋プラスチックゴミ問題で魚よりプラスチックの総量が重くなる可能性があるということを知りました。自分は関係ないではなく、みんなつながっていることも知りました。だから、自分から行動を変えて、ゴミを減らしたいです。

印象に残ったのは、キリバスの島の美しさです。でも、地球温暖化のせいで国土が波をかぶり被害を受けていると聞いて、とてもがっかりしました。キリバスの美しさはずっと残ってほしいです。温暖化を改善していくために、自分に何ができるかな？と思いました。

地球温暖化がとてもしんこくでびっくりしました。もうほかの国の話じゃないんだと思いました。どこの国もこの問題が始まっていると知ったので、これから気を付けていきたいです。また、「地産地消」もしていきたいと思いました。キリバスのことをたくさん知ることができてよかったです。

ぼくは、キリバスのお話を聞いてSDGsに気をつけようと思いました。理由は、2050年には、このままいくと飲み水が飲めなかったり、高波でキリバスに人間が住めなくなってしまうからです。ぼくはあんなにキレイな海や自然を守りたいと思いました。

キリバスのことや地球温暖化のことについてすこし興味をもちました。そして、ゴミをへらすことや自然をもっと大事にすることをしてキリバスを守りたいです。SDGsも守っていききたいです。おもしろい話や、悲しい話もあったけど、とても楽しかったです。一番心に残ったことは、キャベツが2000円もすることにびっくりしました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・ペットボトルの使用量を少なくして、使った場合はきれいにしています

ペットボトルは、1日7本から0~4本にへりました。気をつければ、少し分少なくてできると思えました。少しだけけれど環境によいことができました。これからも続けます。



・メモを使って、ムダな買い物はしない

メモやはり紙を利用して、ムダなものを買わないようにしたら1日平均890円も節約できました。

ムダにしないことは、物を大切にすることです。小さな工夫ですがごみを減らすための工夫をこれからも続けていきたいです。



・シャワーの時間を決めて使う
・節水のポスターを作る
・「節やくしましたか？」というカードを作って家族に渡す

水道代が8700円から7500円に減っていました。水を節約できてとても嬉しいです。協力してくれた家族にも感謝です。節水は、これからも続けます。



・ペットボトルをあまり買わないでコップで飲む
・水とうを持ち歩く

ペットボトルを買わないで水とうを使えば、お金も使わないしゴミもでないので、またやりたいです。土日は、外に出かけるときは、水とうを持ち歩きたいです。



・油污れのふきとり
・ポスターをはって、水の止め忘れの確認

油を水で流していたのをふきとって、よごれた水を出さないようにできました。ポスターの利用で止め忘れがなくなり、水のむだがなくなって、1ヶ月で1081円水道代が安くなりました。小さいことを積み重ねていこうと思います。

